

## 2018年度 言語文化研究会活動報告

### 言語文化研究会総会（6月5日）

23201教室にて、昨年度の活動報告と会計報告を行った。また、今年度の予算計画と運営委員の承認を得た。

### 先輩からゼミの話を聞く会（10月11日、10月16日）

3、4年次ゼミの有志が、ゼミごとにブースを設け、ゼミ選択を控えた2年次の学生との相談会を行った。どのブースの先輩も気軽に、丁寧にそれぞれのゼミの良さを伝えており、多くの2年生がしっかり話を聞いたのではないと思う。

### 言語文化研究会主催報告会（1月8日）

東京都主催の学生対抗プレゼンコンテスト「ヒューマンライツ・フェスタ東京2018」に参加した松尾ゼミ3年生が優秀賞第2位を獲得したことに際し、成果報告会を行った。実際にコンテストで行ったプレゼンを聞く貴重な時間を持つことができた。

### 東女かふえ（10月24日、1月9日）

様々なテーマを参加者同士で自由に語り合うワールドカフェを実施した。テーマに合わせ、互いの意見を尊重し合い、新たな視点に気づくことができた有意義な時間となった。

### 言語文化研究会有志インタビュー冊子作製（1月～）

言語科学専攻の学生募集停止に伴い、言語文化学科創立（1988年）から言語科学専攻への改組（2009年）を経て現在に至るまでの30年間を振り返り、軌跡を残したいと考えた学生有志がインタビュー冊子を企画し遂行した。「ことばを学ぶ、ことばを伝える」というテーマのもと、これまで「ことば」を学んだり教えてきた先生や先輩方が、かつてどんな学生生活を送り、その後の人生の中で「ことば」の問題とどう向き合い、どう生かしてきたのか、などに興味を持ってインタビューをした。そして、拙い説明や質問にも関わらず、総勢50名の方が協力してくださり中身の濃い冊子が完成した。この冊子が、言語文化学科・言語科学専攻の歴史の1ページとなることを願うとともに、読んでくれる学生たち一人ひとりにとっても自らの学びの姿勢や将来を見つめ直すきっかけを提供できたらと考えた。

冊子作製には東京女子大学学会「学生研究奨励費」の助成を得た。また、協力してくださった多くの方への感謝の想いを込め、増刷も実施した。言語科学専攻オフィスで現在も配布中だ。興味のある方は、ぜひご一読いただければ幸いである。

(2018 年度学生運営委員 黒沢 梨恵)